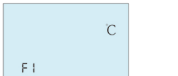


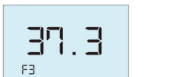
3.温度単位設定：(温度単位設定)

SETボタンを1押しし、左右のボタンを押して摄氏と華氏を切り替えます。C:摄氏 F:華氏



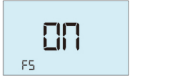
5.アラーム温度設定:

SETボタンを押してF3にする。ボディモードのアラーム設定状態になります。左右のボタンを押して、アラーム温度を37.0~39.0に切り替えます。デフォルトは37.3℃です。
注:アラーム温度はボディモードのみ有効です。



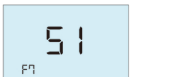
7.バックライト設定:

SETボタンを押してF6にする。バックライトの設定状態になります。左右のボタンを押して、バックライトをオンまたはオフにします。
オフ:バックライトをオフにします
オン:バックライトをオンにします



9.出力信号設定:

SETボタンをF7に押し、左右のボタンを押して出力信号の選択を切り替えます。S1はハイチモードを表示し、S2はローモードを表示します。出力信号の詳細については、出力信号のユーザーガイドを参照してください。



4.モード設定:

SETボタンをF2に押し、左右のボタンを押して作業モードを切り替えます。



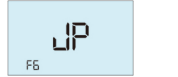
6.音響設定:

SETボタンを押してF4にする。音響設定状態になります。左右のボタンを押して音量を調節します。小さいスピーカーが壊れるとミュートになります。



8.言語設定:

SETボタンをF6に押し、左右のボタンを押して音声設定の言語を切り替えます。
JP:日本語EN:英語

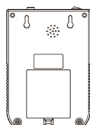


10.USB接続:

タイプC USBケーブルでコンピューターに接続し、コンピューターのソフトウェアをインストールし、デバイスに接続して、測定結果をリアルタイムで保存できます。詳細な手順については、ソフトウェアのユーザーガイドを参照してください。

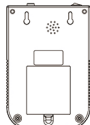
11.電池の取り付け:

バッテリーカバーを開き、電池の極性に応じて取り付けます。

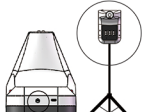


単3電池4本

12.取り付け方法:フック or プラケット



1.ネールフック

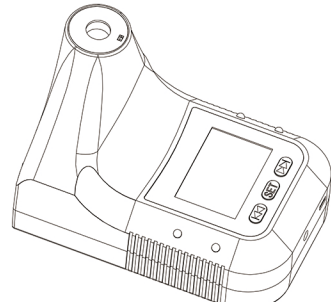


2.プラケット

6.警告

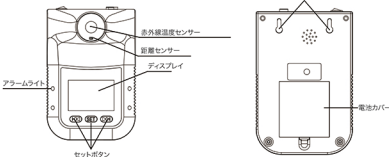
- 1.デバイスが正常に動作できるように環境を確認してください。
- 2.動作環境を変更する場合は、デバイスを30分程そのまましておく必要があります。
- 3.體を体温測定に近づけてください。
- 4.屋外で使用する場合は直射日光を避けてください。
- 5.エアコンやファンなどに近づけないでください。
- 6.安全性が確認できるバッテリーをご使用ください。
液漏れ、サビ等安全が確保されていないリチウム、または充電式バッテリーを使用しないで下さい。火災や爆発の原因となることがあります。

赤外線温度計ユーザーガイド



Model: K3 Pro

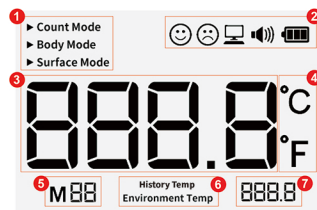
1. はじめに



2.仕様

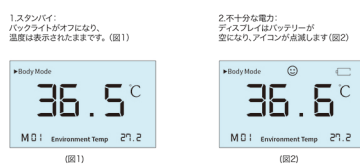
- 1.精度: ±0.2度 (35~42℃、設置し使用する前に30分置いてください)
- 2.アラーム機能:異常自動アラーム、約10秒間のフラッシュ+サウンドアラーム
- 3.測定距離: 5cm~10cm
- 4.ディスプレイ:LCDディスプレイ
- 5.伝送インターフェース:USB Type C
- 6.供給可能な電源:単3電池4本(外部電源と内部電源)
供給を切り替えることができます
- 7.取り付け方法:フック、プラケット固定
- 8.環境温度:10℃~40℃(推奨15℃~35℃)
- 9.測定範囲:0~50℃
- 10.応答時間:0.5秒
- 11.スタンバイ:非接触時間中の30秒の自動スタンバイ
- 12.入力:DC 5V 500mA
- 13.重量:303g
- 14.寸法:170X115X140mm
- 15.カウント容量:9999回

3.表示の説明



- 1 作業モード:カウントモード、ボディモード、サーフェスモード。
- 2 ステータス表示:式、USB接続ステータス、音量、電源。
- 3 測定結果:温度状態またはカウント状態。
- 4 温度単位:摂氏または華氏。
- 5 設定項目または履歴レコード:'M'は履歴レコード番号を示します。'F'は設定項目番号を示します。
- 6 履歴温度または環境温度。
- 7 環境温度ステータス。

4.状態の説明



(図1)

(図2)

3.常温:

両側に緑色のライトが点滅



(図3)

4.異常温度:

両側に赤いライトが点滅



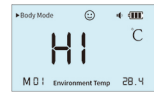
(図4)

5.異常外(ボディモード)

'Lo':異常低温よりも超低温(図5)
'Hi':異常高温よりも超高温(図6)



(図5)

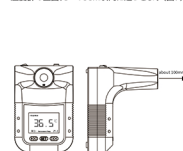


(図6)

5.操作説明書

1.温度測定:

温度計の正面、5~10cm以内近づきます(図7)



(図7)

2.履歴温度ウエリ:

左右のボタンを押して履歴温度を照会します。'M'は現在の履歴温度を表します。デバイスは現在、最大30の履歴温度をサポートしています。



(図8)